



2020. 8. 5 五色台少年自然センターで撮影

オニヤンマ (オニヤンマ科)

全長9～11 cmにもなる日本最大のトンボです。エメラルドグリーンひくがんの眼あざ(複眼)と、鮮やかな黄色のしま模様が特徴です。

幼虫として3～5年も過ごし、大きく成長します。成虫は高い飛翔能力ひしょうのうりよくを持ち、時速70 kmで他の昆虫を捕らえます(スズメバチを食べることもあるそうです)。なわばりを守るように、他のオニヤンマを追いかけることもあります。オスは羽ばたくものをすべてメスとみなし、追いかけてしまうということが近年の研究けんきゅうでわかってきました。